

# 小学校学習指導要領

## 学年別漢字配当表

第 一 学 年	<p>一 右 雨 円 王 音 下 火 花 貝 学 氣 九 休 玉 金 空 月 犬 見</p> <p>五 口 校 左 三 山 子 四 糸 字 耳 七 車 手 十 出 女 小 上 森</p> <p>人 水 正 生 青 夕 石 赤 千 川 先 早 草 足 村 大 男 竹 中 虫</p> <p>町 天 田 土 二 日 入 年 白 八 百 文 木 本 名 目 立 力 林 六</p> <p style="text-align: right;">(80字)</p>
第 二 学 年	<p>引 羽 雲 園 遠 何 科 夏 家 歌 画 回 会 海 絵 外 角 楽 活 間</p> <p>丸 岩 顔 汽 記 帰 弓 牛 魚 京 強 教 近 兄 形 計 元 言 原 戸</p> <p>古 午 後 語 工 公 広 交 光 考 行 高 黄 合 谷 国 黒 今 才 細</p> <p>作 算 止 市 矢 姉 思 紙 寺 自 時 室 社 弱 首 秋 週 春 書 少</p> <p>場 色 食 心 新 親 図 数 西 声 星 晴 切 雪 船 線 前 組 走 多</p> <p>太 体 台 地 池 知 茶 昼 長 鳥 朝 直 通 弟 店 点 電 刀 冬 当</p> <p>東 答 頭 同 道 読 内 南 肉 馬 売 買 麦 半 番 父 風 分 聞 米</p> <p>歩 母 方 北 毎 妹 万 明 鳴 毛 門 夜 野 友 用 曜 来 里 理 話</p> <p style="text-align: right;">(160字)</p>

第三学年

愚安暗医委意育員院飲運泳馱央橫屋温化荷界  
開階寒感漢館岸起期客究急級宮球去橋業曲局  
銀区苦具君係輕血決研鼎庫湖向幸港号根祭皿  
仕死使始指齒詩次事持式実写者主守取酒受州  
拾終習集住重宿所暑助昭消商章勝乘植申身神  
真深進世整昔全相送想息速族他打对待代第題  
炭短談着注柱丁帳調追定庭笛鉄軫都度投豆島  
湯登等動童農波配倍箱畑発反坂板皮悲美鼻筆  
氷表秒病品負部服福物平返勉放味命面問役菓  
由油有遊予羊洋菓陽様落流旅両緑礼列練路和  
(200字)

第四学年

愛案以衣位茨印英榮媛塩岡億加果貨課芽賀改  
械害街各覚瀉完官管関観願岐希季旗器機議求  
泣給拳漁共協鏡競極熊訓軍郡群徑景芸欠結建  
健駿固功好香候康佐差菜最琦材崎昨札刷察参  
産散残氏司試児治滋辞鹿失借種周祝順初松笑  
唱焼照城繩臣信井成省清静席積折節說浅戦選  
然争倉菓束側続卒孫蒂隊達単置仲冲兆低底的  
典伝徒努灯働特徳栃奈梨熱念敗梅博阪飯飛必  
票標不夫付府阜富副兵別辺変便包法望牧末満  
未民無約勇要養浴利陸良料量輪類令冷例連老  
勞録  
(202字)

<p>第 五 学 年</p>	<p>庄圉移因永管衛易益液演応往桜可仮価河過快 解格確額刊幹慣眼紀基寄規喜技義逆久旧救居 許境均禁句型經潔件險檢限現減故個護効厚耕 航鉉構興講告混查再災妻採際在財罪殺雜酸贊 士支史志枝師資飼示似識質舍謝授修述術準序 招証象賞条状常情織職制性政勢精製稅責績接 設絶祖素総造像増則測属率損貸態団断築貯張 停提程適統堂銅導得毒独任燃能破犯判版比肥 非費備評貧布婦武復複仏粉編弁保墓報豊防貿 暴脈務夢迷綿輸余容略留領歴 (193字)</p>
<p>第 六 学 年</p>	<p>胃異遺域宇映延沿恩我灰抃革閣割株干卷看簡 危机揮貴疑吸供胸郷勤筋系敬警劇激穴券絹權 憲源蔽己呼誤后孝皇紅降鋼刻穀骨困砂座濟裁 策冊蚕至私姿視詞誌磁射捨尺若樹収宗就衆從 縱縮熟純処署諸除承将傷障蒸針仁垂推寸盛聖 誠舌宣專泉洗染錢善奏窓創装層操蔵臙存尊退 宅担探誕段暖値宙忠著庁頂腸潮賃痛敵展討党 糖届難乳認納脳派拝背肺俳班晚否批秘俵腹奮 並陞閉片補暮宝訪亡忘棒枚幕密盟模訊郵優預 幼欲翌乱卵覽裏律臨明論 (191字)</p>

## 字体についての解説

### 明朝体と筆写の楷書との関係について

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体のうちの一種を例に用いて示した。このことは、これによって筆写の楷書かいにおける書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであっても、明朝体の字形と筆写の楷書の字形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷文字と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。以下に、分類して、それぞれの例を示す。いずれも「明朝体－手書き（筆写の楷書）」という形で、左側に明朝体、右側にそれを手書きした例を示す。

#### 1. 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの

##### (1) 折り方に関する例

衣－衣 去－去 玄－玄

##### (2) 点画の組合せ方に関する例

人－人 家－家 北－北

##### (3) 「筆押さえ」等に関する例

芝－芝 史－史  
入－入 八－八

##### (4) 曲直に関する例

子－子 手－手 了－了

##### (5) その他

之・之－之 々－々 心－心

#### 2. 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

##### (1) 長短に関する例

雨－雨 雨 戸－戸 戸 戸  
無－無 無

(2) 方向に関する例

風－風風 比－比比  
仰－仰仰  
糸－糸糸 糸－糸糸 糸－糸糸  
主－主主 言－言言言  
年－年年年

(3) つけるか、はなすかに関する例

又－又又 文－文文  
月－月月  
条－条条 保－保保

(4) はらうか、とめるかに関する例

奥－奥奥 公－公公  
角－角角 骨－骨骨

(5) はねるか、とめるかに関する例

切－切切切 改－改改改  
酒－酒酒 陸－陸陸陸  
穴－穴穴穴  
木－木木 来－来来来  
糸－糸糸 牛－牛牛  
環－環環

(6) その他

令－令令 外－外外外  
女－女女 叱－叱叱叱